

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 421

事業名	保護者会劇団受入補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	福祉課		款	民生費・3款
電話	0799 - 44 - 3002			項	児童福祉費・2項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	保育所劇団等巡回公演受入事業補助金等 交付要領、南あわじ市補助金交付規則	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_			
	まちづくりの目標	子どもを産みたい_育てたいまち[子育て]			
	施策目標	子どもや要介護者をもつ共働き夫婦などが、安心して生活できるよう、地域全体で支える			
該当する事業について「 」を選択		施策的事业		業務委託	負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	対象(誰を・どのような状況の人に)	保育所入所児童(4,5歳児)		対象人数(人)	780
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) テレビなどのマスメディアに慣れ親しんだ現在の子ども達に、観劇を通じて、自由に創造力をふくらませながら日常生活に興味と関心を持ち、また、南あわじ市に育つ未来ある子ども達の心豊かなひとづくりの一環として、劇団の公演を実施し、情操を養う。			
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 保育所の保護者会による、4、5歳児を対象に観劇を実施。1会場で午前、午後に分けて市内の保育所の児童に対して実施。保護者会が企画・計画をし、実施し、保育所としては、PR及び当日の児童を安全に留意して引率。事業の一部を補助(18年度は事業費の6割を補助)			
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 現代の子ども達はテレビなどのマスメディアには慣れているものの創造力を高めたり、情操を豊かにすることに乏しく機会も少ない。			
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他	(保育所保護者会)	
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧三原町では3保育所毎に2か所(実施場所は保育所)で人形劇を実施。実施主体を保護者会とした。旧緑町は保護者会に補助金を交付。旧南淡町は、保護者会に対して一切の補助はしなかったが、保育所の親子に対してイベントを開催していた。このような状況の中で旧三原町の手法は、保護者会が主体となって、子ども達のために計画、実施しており児童の健全育成によりつながるということで調整した。				

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	事業実施参加人数				指標単位 人
	指標説明 (指標算出方法等)	4、5歳児の参加人数				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	750	700	780	780	
	実績値	700	695	814		
	達成度 (%)	93.3	99.3	104.4	-	
目標値設定の考え方	4、5歳児の入所人数					
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	4、5歳児の参加割合				指標単位 %
	指標説明 (指標算出方法等)	4、5歳児の参加人数 ÷ 4、5歳児の入所児童数 × 100				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	100	100	100	100	
	実績値	93	99	104		
	達成度 (%)	93.3	99.3	104.0	-	
目標値設定の考え方	4、5歳児入所児童全員					
資源配分 (インプット)			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	直接事業費 (千円)		437	217	391	360
	保護者会劇団受入補助金		437	217	391	360
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]		437	217	391	360
	人件費(正規職員)[B] (千円)		0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)		30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)					
	事業量2(事業に要した人数)					
年間経費([A]+[B])		437	217	391	360	
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)		0.6	0.3	0.5	0.5	
受益者人数(780)1人当り経費(千円)		0.6	0.3	0.5	0.5	
経費に関する補足説明	17、18年度は補助基本額80万円に対して補助率は6割。19年度から補助率5割。20年度は19年度比10%減。					

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)	
		%	93.3	99.3	104.4	-		
<p>(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。)</p> <p>ほぼ達成できた。旧西淡町地区の保育園(民間のみ)は、公立幼稚園との交流事業があり参加できなかったが、19年度から参加。</p>							4	
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		自己評価 (5点評価)
		%	93.3	99.3	104.0	-		
	成果向上率	%	-	6.4	4.7	-		
	<p>(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。)</p> <p>子どもたちが人形劇を鑑賞することにより、実際にふれあい、一体となって創造力をふくらませ情操教育を培った。1会場に市内の保育園児が集まったので安全面に配慮した。保護者会の負担も大きかった。</p>							
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)	
		千円	0.6	0.3	0.5	-		
	効率性増減率	%	-	50.0	53.8	-		
	<p>(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。)</p> <p>1会場で大人数のイベントを開催すると経費増となるが、事業費は保護者会負担も含めて補助金の基本額内で納まった。保護者会が熱心に経費を試算、精査しながら実施したが、役員が毎年変わっていく中で保護者会の負担が増え、重荷にならないような方向で実施したい。</p>							
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input checked="" type="checkbox"/> 低				自己評価 (5点評価)
	<p>(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。)</p> <p>南あわじ市の未来ある子ども達の心豊かな人づくりとして、多いに期待される。又、市民(保護者)からは日頃忙しくて、人形劇等を鑑賞をする機会が得られないので喜ばれている。</p>							
総合評価	自己評価をふまえた現状分析							
	<p>保護者会主催なので当初は、保護者会も手法等に不安を抱えていたため、行政側の負担が大きいと予想していたが、保護者会の努力により事業の成功を導いた。保護者会の負担も多いがこの事業に対する期待も多く、子ども達にとっても有効でなことである。</p>				<p>評価グラフ</p>			

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	18年度はほぼ達成できたので、反省をふまえ、今後、創意工夫をもって続けていきたい。	人形劇等を継続して実施するのは今後とも必要と考えるが各保育所から会場への移送手段にかかる負担と費用に課題がある。
(現状維持以外の改善方法)	事業費の補助率を下げる方向(50%から45%)とし、保護者からも応分の負担をしてもらう。	予算に応じた劇団の選定、移送のためのバス借り上げ料が高いので市のマイクロバスのピストン運転の方法、業者のバスについては、乗りあわせ等工夫する。
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面 補助率は下がるが、保護者の負担とあわせて現状の効果が期待できる。	効果(アウトカム)面 補助率は下がるが、保護者の負担とあわせて現状の効果が期待できる。
	コスト面 コスト削減	コスト面 コスト削減
(現状維持の場合も記入)	仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) プラス面 経費の削減、保護者会の負担減 マイナス面 子どもたちへの創造性をふくらませ、心豊かな人づくり、情操教育の交替	